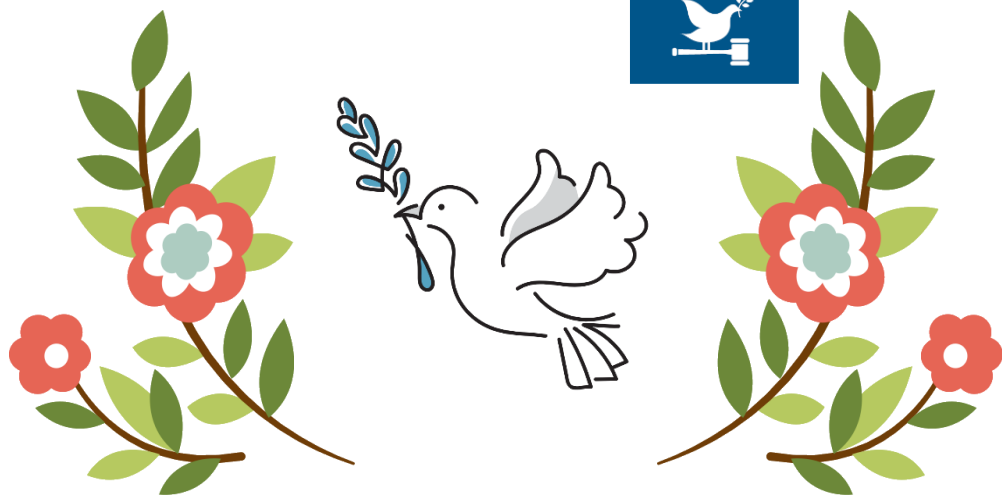


# 戦争と平和に関するおすすめ本

少女兵士ピチャ	かこさとこ／文・絵	文芸社	2023	31
	アフリカのウガンダで暮らすピチャさんが体験した本当のおはなしの絵本です。小学校低学年から読むことができ、小さな子どもですら兵士になり、結婚を強いられる日本では考えられない日々が2023年でも続いていることを学べます。			
戦争はなぜ起こる? どうすれば防げるのか? - 歴史と国際社会のしくみから考えよう -	森肇志／監修	PHP研究所	2023	31
	大人でも聞かれて困ってしまうような「戦争はなぜ起こる? どうすれば防げるのか?」を国家や歴史、法律から読むことができます。 また、序章に「ロシアは、なぜウクライナに軍事侵攻したのか?」があり、現在進行形でどうして軍事侵攻がおこなわれているのかを学べます。			

【多摩市立図書館×平和・人権課】連携企画展示  
東京空襲資料展 ブックリスト

## 3月10日は東京都平和の日 ～戦争と平和を考える～



※永山図書館に展示してある本のみ貸出が可能です。  
永山公民館・市役所1階にて展示している資料は貸出ができません。

※リストに記載があっても貸出中で展示されていない資料があります。

※永山公民館・市役所に展示されている本と貸出中の本の貸出をご希望される場合、多摩市立図書館のホームページにてご予約いただくと可能です。





※別途展示資料一覧のリストもあります。




永山図書館  
企画展示  
2月28日(水)  
～  
3月12日(火)

多摩市役所  
1階ロビー展示  
3月4日(月)  
～  
3月14日(木)

永山公民館  
ギャラリー展示  
3月8日(金)  
～  
3月11日(月)

# 東京大空襲に関するおすすめの本

タイトル	著者	出版社	出版年	請求記号
戦争と文学スペシャル -戦後70年を読み直す-		集英社	2015	F1 ㄗ
 戦争と文学スペシャル	集英社より発行した「コレクション 戦争と文学」(全20巻)から11篇をまとめたムック本です。 東京大空襲だけでなく、日露戦争や日中戦争、9・11を題材とした小説を掲載しています。ほかにも戦時中に兵士に官給された「従軍手帖」の中の手記の翻訳が掲載されていて、戦地へ行った兵士の移動方法や食べ物などを詳しく知ることができます。			
あのとき子どもだった -東京大空襲21人の記録-	東京大空襲・戦災資料センター／編 亀谷敏子／[ほか著]	績文堂出版	2019	F1 ㄗ
 あのとき子どもだった	実際に東京大空襲の被害に遭われた21人に原稿を書いてもらい、一冊にまとめた体験記集です。 2017年に被害者の方へ原稿の依頼をしたため、全員が高齢者となっているにも関わらず、まるで昨日起こったかのようにその体験談を読むことができます。 巻末に付録している地図で、被害者の方が、空襲当日にどのような足取りをたどったのかを可視化できる、知っておきたい記憶の数々です。			
東京大空襲・戦災資料センター図録 いのちと平和のバトン	吉田裕／監修 東京大空襲・戦災資料センター／編	合同出版	2022	210.75
 東京大空襲 戦災資料センター 図録 いのちと平和のバトン	東京都江東区にある東京大空襲戦災・資料センターにある展示資料を図録化した一冊です。 来館者を戦争体験のない方として想定しているため、なぜ戦争が起こったのかという歴史、東京大空襲時の国民の生活や被害状況などをわかりやすく解説しています。 実際の展示資料がすべて図録化されているわけではないため、展示や資料に興味を持たれた方は、ぜひ東京大空襲戦災資料センターへ来館してみてください。			
東京大空襲写真集 -決定版 アメリカ軍の無差別爆撃による被害記録-	早乙女勝元／監修 東京大空襲・戦災資料センター／編	勉誠出版	2015	210.75
 東京大空襲 写真集	400ページ以上にわたる、約1400枚の東京で起こった空襲の写真集です。この1冊で当時東京がどれほど焼け野原となったのかなど、被害の実態がわかります。 本書も『東京大空襲・戦災資料センター図録 いのちと平和のバトン』と同じく東京大空襲・戦災資料センターが編集しているが、センターにもない写真を掲載し、東京大空襲被害を網羅できます。			

タイトル	著者	出版社	出版年	請求記号
大人になるまでに読みたい15歳のエッセイ 3 まぶたにのこる	和合亮一／編・エッセイ	ゆまに書房	2022	Y 91 ㄗ
 まぶたにのこる	戦争に関わるエッセイが31編掲載されているエッセイ集です。優しい言葉で綴られているため、どの世代でも読める作品となっています。 あの日、少年少女だった自分を思い返して、誰もが一度は聞いたことがある日本人の作家が書いています。被害にあわれた方に黙祷をささげる一冊です。			
ガラスのうさぎ	高木敏子／作 武部本一郎／画	金の星社	2000	91 ㄗ
 ガラスのうさぎ	第24回青少年読書感想文全国コンクール課題図書にも選ばれ、40年以上読まれ続けられている作品です。戦争で母と妹二人、父が亡くなくても生きていかなければならない凄惨な実体験が綴られています。 「召集令状」や「隣組」といった戦時中に使われていた難しい言葉にはすべてよみがなや解説が入っていて、戦争の物語を始めて読む方にもよみやすいです。			
かわいそうなぞう おはなしノンフィクション絵本	つちやゆきお／ぶん たけもといちろう／え	金の星社	1970	E ㄗ
わたしの見たかわいそうなゾウ -平和を考える-	澤田喜子／著	今人舎	2010	48
 かわいそうなぞう	戦時中に上野動物園で起こった本当のおはなしです。 『かわいそうなぞう』では飼育していた3頭のゾウに焦点を当てていますが、『わたしの見たかわいそうなゾウ』では、他の飼育していた動物たちについても、戦時中にどのような扱いを受けていたのかを当時の飼育員の方の文章で読むことができます。			

掲載されている本はすべて多摩市立図書館ホームページから予約できます！  
ホームページはこちらからアクセスできます→

